



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2015年2月1日

2月号・第157号

奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀 憲



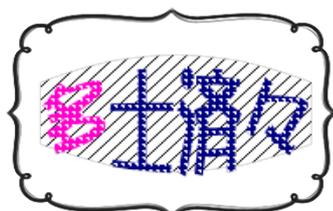
安東広重『東海道五十三次』の蒲原(かんばら)の宿

H. Sakai

Contents

URL <http://www.naranature.com>

多士済々	①	俳句百景	⑩
Monthly Repo.ならやま	②	癒しの散歩道&ならやま茶論	⑪
里山の今	③	Galleryならやま	⑫
新春初出式	⑤	ならやまプロジェクト(2月)	⑬
進路ガイダンス	⑤	字遊字感	⑭
1月歴史研修会	⑥	行事案内part1	⑮
「鳥」シリーズ	⑦	行事案内part2&奈良学クイズ	⑯
やさしい病害虫講座	⑧	幹事会報告	⑰
青垣春秋	⑨	ペン画に寄せて・申し合わせ・編集後記	⑰



多彩な引き出し！

大澤 教男 さん

顧問 阿部 和生

伐採木の前に立ち、梢を見上げ一思索……。周囲を見渡し「伐るぞー」と声かけをし、唸りを上げたチェーンソーを自在に操られる大澤さんです。

この「ならやま」で、佳き「ヤマ師仲間」と出会うれ、本来の器用さに熱意を加えられ、腕を上げられました。今や大黒柱のお一人です。その強靱な体力は周囲を圧倒します。決して大男ではないのですが、木の前に立たれると、がっしりとしたその体軀が、一回りも二回りも大きくどっしりと見えるのです。ヤマ仕事が好き！と、身体全体からオーラが出ているように思います。山仕事、特に広葉樹の伐採は、スギヒノキの人工林と一味違った難易度の高い作業ですが 軽々とこなされる毎日です。



昨年10月
生駒市「花とみ
どりの楽校」受
講生が間伐実
習に来られま

した。山班の皆さまと共に指導いただいたのです。受講された皆さまが、受講後凄く仲良くなられて、生駒市の職員からお礼と感謝の連絡がありました。受け持たれた大澤さんの班のご指導は、間伐体験が初めての方を対象にしてはかなりいろいろと指図があり、注意が飛んでいました。伐採、玉切り、後始末、皮むきと指示が飛び、きつい作業内容であったと思いますが チームワークを作り、お互いの意思疎通が図られていたから



こそ 前述の電話があったのだらうと思いました。強靱な体力を生かした山男と想像されるかもしれませんが、薪割り機の指導に見られる様に、やはり人〈女性〉を引き付ける気配りがそこに加味されています。

皆さまご存知の“会報誌クイズ”の常連回答者として、その知恵を発揮されます。かなり難問が出されているのですが、「連続回答者」であり「正解者」でもあるのです。出題者と知恵比べ？とすら思うほど。何処にそれらの蓄積があるのだらう、問題を見てすぐに投げ出してしまう私には、不思議不思議と驚嘆です。

別の引き出しには、自然観察会に参加される子供さんへの温かい眼差しがあります。ご家庭にその秘密があるのでしょうかと想像しています。

暮れの25日には、干支の「羊のキット」を沢山準備してくださいました。正月飾りを多くの方が完成させて持ち帰れました。ヒツジさんは、耳と目が命、小さい細工が組み合わされたキットが沢山並んでいました。大木を伐る



大澤さんとこの小さい細工を苦もなく考え作ってしまう才能、繊細な部品が紡ぎだされる不思議とが結びつかない〈失礼!〉。「にこっ」とされるあの笑顔が、なんとも魅力的で、やはり人柄が良いのでしょうね。

忙しくしておられる毎日、無理なさらぬようお願いのみです。

Monthly Repo. ならやま

12月25日(木) 晴れ 60名+3名

本年最後の活動日。活動は午前中のみで午後は来年の干支の置物作り。ベースキャンプに1対の大きな門松が、腰を落ち着けて新年の準備も万全。昼には有志が芋粥を作って振舞ってくれ、皆さんのお腹もご満悦。午後には小刀とサンドペーパーにより可愛い羊が続々と完成した。

里山 G は本年大いに活躍してくれたチェーンソーなどの機器の整備を済ませ、新春の活動に備えた。エコファーム G は本年最後のダイコン・ミズナ・ネギなどの収穫。隣の農家からは雑煮ダイコンの提供も受けた。来年度 100kg? の収穫を期待して、ウメにたっぷり栄養豊かな堆肥を提供。今年の役目を終えたジンジャーは枯れた茎の処分。



2015年1月8日(木) うす曇り 61名

新年明けましておめでとうございます。年が改まったの初の活動。餅つきと七草粥が初日の目玉商品。

女性陣がかご片手に春の七草摘みにベースキャンプ周辺を右へ左へ。まだ寒さが厳しいので、七草は地面に張り付くようになっているので見つけるのも大変でした。

11時から餅つきが始まる。つき手が次々と交代しながら無事黄な粉餅、おろし餅がつき上がり、「美味しい!美味しい!」と皆さんのお腹に・・・。七草粥はもちろんのこと、黒米のおにぎりも準備され、ならやまの幸でお腹一杯となった。

里山 G はなら枯れで伐採したコナラの跡地に、クヌギの苗木の植え付けと薪棚づくり。エコファーム G は水田に堆肥をたっぷり供給し、今年も豊作であることを期待する。景観 G は JR 線路脇の荒地に挑み、除草と溝の落ち葉掃除により、ならやま入り口がすっきりとした。花では寒さに弱いアガパンサスの霜囲いを完了。池の生き物調査では、寒いにも関わらずエビやコマツモムシが元気に泳いでいた。



昨春、まごころプロジェクトで東北の鹿折小学校に送った鹿の折紙に対し、子供達から心温まるお礼の手紙がいっぱい届いた。



2015年1月16日(金) 晴れ 26名

前日の活動が雨のため中止で、臨時活動となった。参加者は少なかったが、第5地区の枯れマツの伐採、育苗ハウスの支柱の準備、東池の水抜き、フジバカマ花壇の整理など実施。水抜きでは新しいポンプが威力を発揮して大活躍。

(木村 裕)

ならやま花だより

吉村 さつき

1月16日(金) 東池入口付近に小さなモクセイ科のヒイラギの木があります。

何時になれば花をつけるのかと何年も楽しみにしているのですが、まだ花を見た事がありません。

雌雄異株で花期は11～12月で葉の付け根に葉に隠れるように白い小花を密生させます。キンモクセイの様な良い香りを放ちます。

果実は6～7月に暗紫色に熟し、鳥に食べられ種子が散布されます。

葉は革質で光沢があり縁には鋭い刺があります。老木になると刺が少なくなり丸くなります。

古くから邪気の侵入を防ぐ縁起木と言われ、表鬼門(北東)にヒイラギ、裏鬼門(南西)にナンテンを庭木として使われます。

節分の夜にヒイラギの枝をイワシの頭にさし門戸に飾ると悪魔を払うと言われています。

名前の由来は葉の縁の刺に触るとヒリヒリ痛いので古語、疼(ひいら)ぐから疼(ヒイラギ)と呼ばれるようになりました。



ヒイラギの葉

[草花] オオイヌノフグリ、オニノゲシ、ハコベ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ

[木の花] サザンカ、ロウバイ

[木の蕾] ミツマタ、ジンチョウゲ、ヤブツバキ、アセビ、ヒサカキ

[木の実] ソヨゴ、ナンテン、ヤブコウジ、クコ、マンリョウ、フユイチゴ、ヒサカキ

[花壇] スイセン



ペタキン日記 33

羽尻 嵩

12月25日(木) タナゴ池の中や入水溝付近の浅瀬に、水質浄化のためのクワイの球茎を植え付ける。

1月8日(木) ならやま池の水生生物調査で、シマヒレヨシノボリが池の東側で捕獲された。

実は昨年8月15日にも同じ東側で1匹捕獲されていたが、今回のものはこれまで見たことのない体長は7cmほどの大物で、前ヒレを大きく開き、目は周りをじっと見つめ威圧感があった。

その後、池の中央の窪みでも小さめのものが1匹捕獲されたのだ。2匹ともタナゴ池に戻した。



1月16日(金) 東池の水抜きをする。

池の水抜きと泥さらえ・天日干しは、1970年代までは年一回冬場にどこの溜池でも必ず行われてきた行事で、それをすることで稲作のためのよりよい水質が保たれてきたものだ。この池も初めはよい水質が保たれていたが、去年は池底に泥が蓄積し、アオミドロが大量に繁茂し、下にあるタナゴ池やならやま池の汚れにも繋がってきていた。

新しく購入した馬力のある発電機と泥も吸い取ることが出来る新しい排水ポンプを取り付けて10時過ぎからエンジンを始動させ、少し水を残して2時過ぎに作業を終えた。



ならやま虫だより

菊川年明

◆冬のおオスズメバチ

昨秋、ベースキャンプの東の自転車道沿いにあるコナラの木に、いつの間にかオオスズメバチが群がるようになったが、11月中にほとんど姿を消した。

オオスズメバチの活動期は11月までとされ、秋に次世代の女王蜂になる雌蜂と、繁殖のための雄蜂が出現する。従来からいる蜂は順次死滅する。新しく出現した雌雄の蜂は繁殖行動を行い、雄蜂はその後に死滅、次世代の女王蜂は朽ち木の中などに潜り込んで越冬する。元の巣が再度利用されることはない。

春、4月中頃に女王蜂は越冬場所から出てきて単独で巣作りを始める。オオスズメバチの場合、巣はおおむね地中に作られる。そして産卵する。卵が孵化すると女王蜂は単独で幼虫の世話、餌集め、巣の拡張作業のすべてを行うのでたいへんである。暫くは孤軍奮闘、人間が近づいても構ってられない状態なので危険性は少ないと言われている。

初夏の頃になると最初の子供が成虫になる。羽化した成虫はすべて働き蜂（雌）である。以後は巣作りも、餌集めも、幼虫の世話もすべて働き蜂が行うので、女王蜂は産卵に専念する。巣はどんどん大きくなる。秋には巣は巨大化し、働き蜂もたくさんになって、最も危険な状態になる。

この後は先に書いたことの繰り返しになるが、晩秋に近い頃、次世代の女王蜂と雄蜂が現れて繁殖行動を行い、11月も半ばを過ぎると次世代の女王蜂以外の蜂は死に絶えると言われている。真冬のある日、アカマツの朽ち木を砕いて越冬昆虫を観察していたら、オオスズメバチの次世代女王蜂が潜っていたことがあった。写真はそのときのものである。



パトロール班レポ

小島武雄

ならやま観察路を歩いていると、強い風が吹いた為か、頭上に太い木の枝が、今にも落ち

そうにぶら下がっているのに出くわします。危険防止の為すぐに撤去します。このような危険箇所は、足元を見て歩いていると見つけられません。パトロール中は頭上もチェックしています。

また、丸太の階段が朽ち、止めてある杭が抜けている所は、足を踏み外したら大変です。階段の補修はすぐ近くの適当な太さのソゴの木等を切って段板にし、木の枝の杭で応急処置します。これらの対応は、出来る限りパトロール中におこないます。

松山平の荒れ地の所は、禿げ山の様な風化した山砂が固まって滑りやすくなっており、足を滑らすと崖下まで転げ落ちそうになります。安全ロープの手摺はありますが、支えがしっかりしてなくて不安定、これに頼ると安心出来ません。現在鉄杭などで対策検討中です。

中でも彩りの森から見晴らしの辻まで一気に上がる所は、近くの木を掴みながら注意深く登る急なルートです、階段も有りません。ここの観察路はちょっと不便でも、あまり手を加えずに、自然のままにしてあります。しかし危険な所の通行は、自己責任と云う訳にいきませんので、ここを通行する時は、メンバーを選んで参加してもらっています。

冬枯れの今の季節は、観察路周辺がよく見渡せますので、今のうちに整備を行ない、春の観察に備えたいと思います。



新春初出式 ◆○◇●◇○◆

今年の新春初出式は、1月8日(木)曇り空で寒い中、ならやまのメンバー60名の参加を得て盛大に行いました。

まず藤田会長より、今年の活動方針などの新年の挨拶があり、その後各グループで仕事始めの活動をする。11時頃から餅つきを始め、白米・黒米の2色のお餅4升を、老若男女入れ替わり立ち替わりで搗き、熱々のきな粉餅とおろし餅を女性スタッフ総出で手際よく仕上げてくださいました。待ちかねた会員さん達が列をなし早速賞味。更に黒米のおにぎりも作りました。



ならやま産(セリ・ナズナ・ハハコグサ・ハコベ・コオニタビラコ・カブ・ダイコン)で有名な七草粥を大鍋満杯に炊き上げ振るまいました。

「美味しい美味しい」の声があちこちで聞かれ、瞬く間に完食して、今年も皆様の食欲に度肝を抜かれた思いでした。

今回も女性の皆さんに大変お世話になり有難うございました。また餅つき用具一式を、幹事の高本さんからお借りしました。有難うございました。

今年も忙しい年になりますが、健康に気を付けて頑張ってください。(富井 忠雄)



進路ガイダンス報告

1月18日(日)午後、シニア自然大学の修了者を対象にした進路ガイダンスが鶴見緑地公園の「陳列館」にて行われた。「奈良・人と自然の会」からは藤田、塩本、木村(裕)、青木、辻本、足立、宮崎、羽尻が入会勧誘のため参加した。

年々修了者の人数が少なくなっている中で、何とか一人でもこの会に来てもらうため、本年は本会の会員の活動を撮った拡大写真を20枚ほど模造紙に貼って視覚イメージに訴える作戦をとった。(特に、写真の撮影では木村さん、沢山の枚数の写真印刷では辻本さんにはお世話になった。)

熱意溢れる説明の結果、14名の方に連絡先を記入していただいた。



今年の本会の進路ガイダンスは例年に比べて話がやすく、会の宣伝も大いにできたと思いますが、自然大学の在校生が減ってきたことを思えば、今後は奈良市や生駒市など県下の行政機関との接触を増やし、もっと地元の人材を開拓していかなければならないと思いました。(羽尻 嵩)

歴史文研修会

「環濠の街 今井町とその周辺を歩く」

(平成27年1月12日)

1月12日(月)気温は低いが日差しは暖かい研修会日和となった。16名の参加を得て近鉄大和八木駅を9時半出発。今回は橿原市観光ボランティア向本さんにガイドをお願いした。

駅から7分程で江戸時代の旅籠、平田家を改修した「八木札の辻交流館」に着く。「八木札の辻」は河内から伊勢に通じる「横大路」(伊勢街道)と大和から紀伊に至る「中街道」(古代の下ツ道)の重要な交差点であった。その当時の賑わい振りは幕府の高札場や、旅籠の平田家、現存する井戸などが「西国三十三所名所図会」に「八木札街」として描かれていてよく分かる。

下ツ道を少し南下し、大和七福神霊場のひとつ「おふさ観音」に初詣。



飛鳥川の流りに沿って下ると「蘇武橋」に至る。橋を渡ると今井町である。環濠を埋め立てた広い道路沿いにまるで撮影所のような真新しく改築された街並みが広がる。平成5年「重要伝統的建造物群保存地区」に指定された。

まず観光拠点の今井まちなみ交流センター「華薨」で向本さんの説明を聞く。華薨は明治36年高市郡教育博物館として建てられ、昭和に今井町役場となり、現在は復元されて明治建築が見事に蘇っている。

今井町は東西600m、南北310mの区域で、方眼状に道路が配されているが、途中で少し屈曲さ

せるなど、敵の侵入に備えて見通しできないようになっている。外周は環濠(今西家周囲のみ復元され、その他は道路)をめぐるし、城塞都市として栄えた街並みが見て取れる。

室町時代後期には一向宗(浄土真宗)の「称念寺」を中心として、すでに現在と同規模の寺内町が形成されていた。現在の今井町は電線の地下化が進みお蔭で往時の街並みを偲ぶことができる。

今井郷は一向一揆では石山本願寺派について信長に反抗しましたが、江戸時代には南大和最大の商工業都市に発展、堺と並び自治特権が認められた。江戸時代に建てられ今も住み続けている住宅9軒が国の重要文化財に指定されている。今西家内部を見学。1650年の建築で日本建築史上重要な建物のひとつといわれている。

重要文化財「称念寺本堂」は現在修理中で、江戸時代以来初めての大修理中で、あと数年掛るとのこと。残念ながら見学することは出来なかった。称念寺には明治天皇の大和行幸の際に「今井行在所」となり、ここで西南戦争勃発の第一報を聞かれたという記録が残っている。

「夢ら咲長屋」で昼食。ガイドと別れ、北口門跡を通過して「入鹿神社」へ。

ここでは古川さんの解説を拝聴する。

「入鹿神社」には素戔鳴尊、蘇我入鹿が祀られている。もともと入鹿のみを祀る神社だったが、明治政府は大逆臣の入鹿を神として祀るのは問題として、スサノオを祭神とし、名前を所在地名の小綱神社に改めるよう指示したが、地元住民はこれを拒否したといわれている。

古川さんはこの説明の中で、日本書紀の伝える「蘇我逆臣説」には組しないと。奇しくも3日後、小山田遺跡で舒明天皇墓と思われる、馬子の石舞台を上回る巨大方墳の濠が発掘された。蘇我氏の権勢は天皇家を凌いでいたという通説に疑問符がつけられたことになる。とすると「乙巳の変」の原因は？蘇我三代は果たして逆臣なのか？

次いで曾我町にある馬子が創建したと伝わる「宗我坐宗我都比古神社」に詣り、帰途についた。

(歴史文化クラブ 中井 弘)

鳥シリーズ 2月 オシドリ 小田久美子

長旅お疲れ様、冬鳥の中のスター

「オシドリ」

シベリア方面から日本各地に小鳥たちも多く飛来しますが、カモや白鳥たちも越冬のためにやって来ます。

今月 23 日は、春までの滞在中にしっかり体力を付け、長旅に備える彼らにエールを送りに行きたいと思います。沢山の応援団を期待します。

以前は湯船にプカプカ浮かんで子供たちと遊んでいました。美しい姿から絵画や襖絵・和服の意匠などに好んで多く描かれて来ました。あまりに可愛く美しく絵本の中の鳥のようでそれこそ絵空事だと思っていたのは私だけでしょうか。

雌雄仲睦まじい鳥とされ、かつて結婚式の祝辞では「鴛鴦の契り」「おしどり夫婦のように」と引き合いに出される定番の鳥でした。

鴛はオシドリのオスで大変カラフルなため、メスからも人目からも天敵からも目立ちます。

鴛はそのメスのことで目立たないけどお洒落な鳥です。雌雄が寄り添う姿はとても絵になり、仲が良いと思われるのはもっともなことです。



『おしどり夫婦とホシハジロ』

ところが現実のオシドリ夫婦の仲は「幾久しく仲良く」とは程遠く、毎年繁殖の相手を替えているのだそうです。毎年繁殖の相手を替えるからといってオシドリが取り分け淫乱なのではありません。カモの仲間はいがいメスを選んで貰うため

に美しく装いアピールします。

冬私たちが目にする頃には多くがイケメン出来上がり状態。日本に到着した頃の多くはまだメスと同じような地味な姿。少し変化の出始めた様子はエクリプス(月が欠けた姿)と呼ばれます。

オシドリだけでなくカモの多くは毎年関係が変わるようです。とはいえ、いったん番が形成されると繁殖地に戻るまで仲睦まじく二羽で行動します。

日本で婚約して繁殖地で結婚・子育てを行います。その時には天敵に見つからないようオスも地味な姿に衣替えです。

私事ですが、伊藤若冲大ファンとしては掛け軸「雪中鴛鴦図」のペアの絵が大好き。メスがお尻をぽっこり水面に出して潜っている傍でオスが見守っています。



『崇神陵群れ』

トピックス

「カラスの大量死」

昨年末から新年にかけて埼玉県の何か所かで 111 羽のカラスが死んでいました。鳥インフルエンザは陰性。

農薬や毒薬・猛禽類や人間が要因の死でもなく、「胃の中が空っぽ」という共通点があり、自殺? 餓死? と話題になりました。

「死因は細菌性腸炎」ではないかという研究者の話では、残飯を食べ漁る大人は良いけど子供たちは案外弱く、生後 1 年で生き残るのは 1 割に満たないのだそうです。

カラスといえども生きるのは厳しいようです。

やさしい病虫害講座 10 名医は何処に？

木村 裕

皆さんは腹が痛くなったら、転んで怪我をしたら、虫歯が痛くなったら、物が見えにくくなったらどうしますか？ ある人は近くの薬局で薬を買って飲む、掛かりつけの医者に行く、いろいろな設備が揃っている病院へゆくなど、思い思いの対策をとられることと思います。その相談相手は、薬剤師、医者、研修医などさまざまですね。名医もいれば藪もいます。

家庭菜園のキュウリやトマトでアオムシが葉を齧っている、庭木に毛虫が群がっているのを発見すると、最初はまず手で1匹ずつ摘まんで（毛虫は無理ですね）、虫の苦手な人は割り箸で処分していることと思いますが、虫が増えてくればお手上げです。どうしましょうか？ 植物の病気や害虫について診断や防除対策をしてくれる医者は何処にいるか分かりますか？

たぶん皆様方はホームセンターの園芸品売り場か園芸店に出かけ、売り場のパートの小母さんに「どうしたらよいのか」と質問し、「マラソン」などを薦められると「なるほど、それが良いのか」と納得して購入・散布されることと思います。本当に効果がありましたか？？ 彼女らが医者の代わりになったのでしょうか？ 答えはノーです。こんなことを言ったら「失礼な！」と叱られるかもしれません。



農作物の病虫害に詳しい医者は残念ながら皆さんの近くにはいません。専門医は県の農業試験場で病虫害防除を担当されている方ですが、奈良県では橿原市にある農業開発研究センターと病虫害防除所にしかおりません。その次に詳しいのが県

の4つの農林振興事務所にいる農業改良普及の専門職員の方ですが、農家の方のご存知ですが皆さんでは何処にあるのか分からないでしょう。その次に詳しいのは農業共同組合（JA ならけん）の営農経済センターの指導員の方です。彼らも非常によく知っています。

皆さんに身近で病虫害に関する知識を持っておられる方は、個人で園芸店を手広く経営されているマスターです。植木に関しては造園業者のマスターです。彼らは県の試験場の専門家の講習をうけるなどよく勉強しています。しかし若い店員さんやパートさんでは残念ながらあまり期待できません。自分よりも少し知識を持っておられる程度と思ったらよいでしょう。



相談をされる場合は人間の医者と同じように患者を連れて行くことが基本です。言葉による説明だけではいくら名医でも正確な診断は出来ません。必ず現物持参で出かけてください。信頼できる名医を探してください。どの名医に診てもらっても無料です。いいですね！

園芸書で調べるのもよい方法ですが、なかなかぴたっと当たるものがなくて頭を悩まされることでしょう。写真が充実している本が望ましいです。しかし、農薬については、日々変化していますので、本にでている農薬が園芸店に行っても必ずしも手に入るとはかぎりません。

コマーシャル！

野菜、花、樹木などの病気や害虫についてのご相談は木村医院まで。健康保険は適用できませんが格安？で診断します。ただし患者同伴でお願いします。



隠れ古社寺 ひとり旅 ⑬

歴史文化クラブ
川井秀夫

二つの八幡社を訪う

～ 山陵八幡神社・山上八幡神社 ～

会員の皆さん。健やかに新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

当会も四年目の春を迎えます。今年も「古代の渚を歩く」をキーワードとして、歴史・文化を検証しながら、現在・未来への展望を皆さんと一諸に研修して参りたいとおもいます。今年も尚一層のご協力をお願い申し上げます。

さて、今回は暫くご無沙汰になりました「隠れ古社寺」シリーズとして、近在の八幡社を訪ねました。八幡信仰は武家社会が勃興した平安後期から広まり、現在日本全土に44000社あると言われます。総本社の宇佐八幡・石清水八幡・鶴岡八幡が別格とされ、この奈良の地にも、石清水の元社。大安寺にある八幡神社、東大寺の鎮守社手向山八幡宮、薬師寺の休ヶ岡八幡宮など格式の高いものがあります。

山陵八幡神社 (みささぎはちまん)

近鉄 平城駅下車3分。昨日までの寒気が抜け、風も無く鈍い冬日が暖かさすら感じる。この辺りから盾列古墳群の導入部まで山陵町と言う。昔の小字名は「宮ノ谷」。神社の南は「宮ノ前」西は「宮西」と。周辺は住宅開発が進むが、神社・御陵・古墳群が続く丘陵地帯のエリアは平城宮跡の特別保護区に指定され荘厳な雰意気が残る。



整備された45の石段を登ると、広い神域、切妻造りの拝殿の奥に一間社の本殿が鎮座する。祭神は真中に品陀和氣命(応神天皇 八幡さん)脇に氣長足媛命(神功皇后 武芸の神)玉依姫命(神武天皇の母 育児の神)。二月に大とんど祭、十月に湯立祭の祭事があると言う。

北に隣接して神功皇后陵 五社神(ごさし)古墳がある。所伝によると時代の変遷により所在の真偽が取沙汰されたが08年の調査により治定されたい。

山上八幡神社 (やまかみはちまん)

少し歩いて盾列古墳群の日葉酢媛陵の南に鎮座するもう一つの八幡社を訪ねる。整った参道の入り口に春日鳥居。両脇に桧皮で囲った門松、と言っても雌雄の松の一枝を挿した飾り気の無いものだが、妙に新年の淑気を憶える。俳句の季語



で言う鳥総松(とぶさまつ)である。ここも拝殿は立派、左右に舞殿があり氏子の奉納した武者の絵馬が目奪う。

本殿は一間社で山陵社と同じ。祭神は八幡大明神(誉田別命)天照皇大神(天照大神)春日大明神(天兒屋根命)。本殿の脇には秀吉が三韓征伐の勝利祈願でお手植えの杉の巨木が根を下ろす。神功皇后の名がなく、宮司不在で聞く術も無く謎が残った。

両社とも格式は村社とは言え、宮司のお家も立派で神域の箒目一つみても周辺の尊崇の高さを感じさせる印象を受けました。この地の指呼に里山ならやまがあり、我々の平安を祈願して帰途につきました。

初空や薪小屋作る槌の音

坂東久平

わが俳句塾に新人登場。里山では薪作りに大活躍。コナラの伐採木がリユースされる。槌の響きが初空に飴して爽快。バンキョーサン頑張れ。

お正月金婚アルバム見て和む

坂東久平

子も孫さんも、ひととき大歓声が湧く。お正月の団欒風景のひとコマ。次はダイヤモンド婚ですかね。偕老洞穴、末永くお幸せに。

正月や孫の来ぬ間に一句詠む

西谷範子

お正月はお婆ちゃんは大忙し。器用な作者はそんな合間に一句。昔、女性は女正月があった。後はゆっくり休んで下さいよ。

夜回りの声を小耳に豆を煮

西谷範子

「夜回り」は年末の季語。私も晦日に寒柝を叩いて町中を歩く。年用意の忙しさが表出されて佳句。火の用心、火の用心。

カーテンの外に雀のお正月

青木幸子

カーテンの一枚を分けて、人と野性の営みの相対が面白い。メルヘンチックな絵物語にある様な女性らしい感性の一句。お見事

阪神忌知らない子らもはや二十歳

青木幸子

おぞましい震災から20年。成人式を見て感慨ひとしお。未来に夢と希望を托す思いが募る。

千体の仏哭きたり初氷

八木順一

五百羅漢か永代供養の無縁仏か。寒風に凍りつく様だ。冥界の死者を気遣う作者。もう浄土は春かもよ。御身が大切。



俳句百景

監修 川井秀夫

冬の日の火箭貫ぬいて生駒山

八木順一

アベノハルカスから遠望した生駒山。落日の日矢が山を射貫く様。火箭にみたてた措辞が良い。冬日とは言え、鋭いインパクトを感じる。

悔いよりも夢を残さん傘寿春

古川祐司

男にとって八十の大台は長命の証し。前を向いて米寿まで真っしぐら。悔いなしと夢追いかける初御空。ご同感、ご同感。

飽食の世に七草の薬粥

古川祐司

戦中派は粗食で育つ。里山の七草粥は最高の美食。こればかりでもね。時代を風刺した流石の一句。お年が知れますかな。

平穏を一願と為す初詣

阿部和生

人間は欲心が強い。平穏だけを願う清々しさ。今年は無年、アイ・シー。初詣の句は万句とあるが、リズム良し、簡明ななかに一念の心情が心良い。

風呂吹きやふうふうと二つ三つ

鈴木末一

今年の里山大根は大豊作。連日の大根料理も風呂吹きだけは格別。ふうふうの擬声語が生きる。四つ五つといきますか。諧謔味が良い。

茅煮会挽挽と賑へり

鈴木末一

収穫物が豊富。具沢山の煮物に人気上々。ワンワンワンと挽が声をだす程。今年是需要と供給を考えなくちゃ。当事者の嬉しい悲鳴が聞こえる。

今井千軒ぐるり淑気のなかに居る

川井秀夫

歴史クラブ新年行事。今井町を巡る。古い家並に新春の飾りが溢れる。歴史とは過去と現代の対話なり。無常の世に未来を思う。

癒しの散歩道

冬の海



谷川 萬太郎

見上げれば雪雲に風花が ふんわりと肩に舞い降りた

人恋しい静かで孤独な瞳 肌を刺す冷たい冬の海眺め

まなこ放てば満々と湛える 海姿はいまだ春を知らずや

俄かに湧き出る白波の群れ 生まれては消ゆる儂い定めか

幾つもの荒波乗り越えれば 春色の貝殻に出会うだろう

夜の浜辺に寄せては返す潮騒の 波打ち際に残されし浜千鳥

ならやま茶論

「初夢」

竹本 雅昭

“よいしょ” “よいしょ” あゝうまい!!

やっぱり搗きたての黄粉餅と大根餅、たま
らんな・・・。“あれ”これ金の玉子みた
い。金柑の甘露煮の何と美味しいことか。

有難い有難い、今年も頑張るぞ。

里山： 人々の元気な姿に安心した。焚火の
お陰で睡気がしてきた。

ムニヤムニヤ・・・。

～ 夢 ～

里山： おや羊さん、こんな所で何しとるん。

羊： こゝは年中草が多いんでチャチャと
刈取ってと頼まれたんです。

里山： 誰から？

羊： はい、ハイジさんです。

里山： えゝ!! あの有名な。俺も早く逢いた
いな。あれ林の中で誰やろう。

象： やあ今日は。あっちにいるゴリラ君
と二人で、倒木や不要な木をチャチャ
と処理しといてと頼まれましてん。

里山： えゝ!! 誰から。

ゴリラ： はい、ターザン兄貴から。

里山： あの“アーアーアー”のか？ そり
ゃ頼もしい人や早く逢いたいな。

象： すぐ逢えますよ。作業では葛や藤は
切らないようにと言われてます。

里山： あれ、エコファームで牛さんが
寝てるぞ、どうしたんです。

牛： 妙好人、因幡の源左さんに頼まれ
たけど、ちっこい畑やさけモウ済ん
でしもうたわ。

里山： それはそれは、ナンマンダブツ、
ナンマンダブツ。

～ 人々の帰る音で目覚める ～

— 終 —



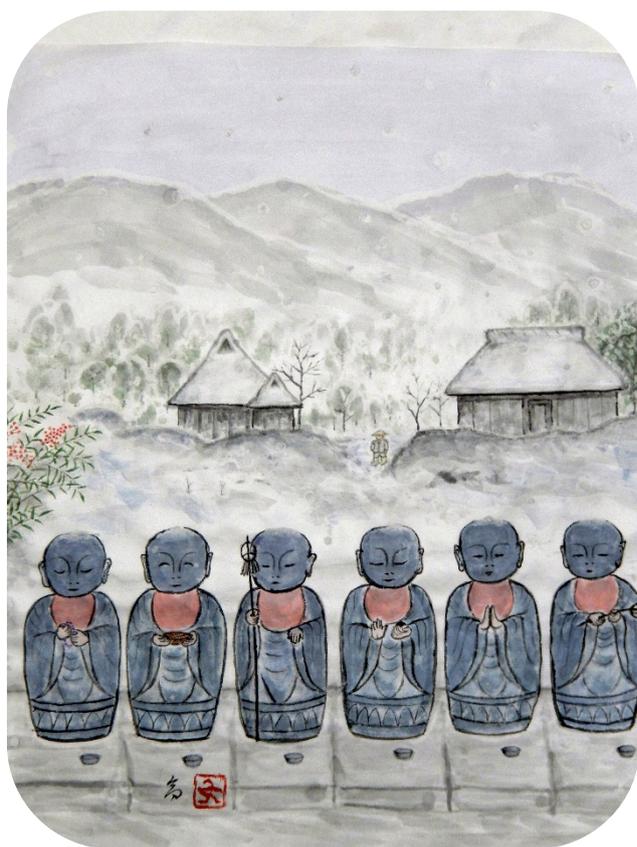


墨彩画 (羽尻 嵩) 「六道地蔵様」

水彩画 (八木 順一) 「伏見風景」

自然工作 (大澤 教男) 「群れ」・「ピーチク・パーチク」

陶芸 (小島 武雄) 「ごはん待ち猫」 (白土 黒化粧 釉薬織部)



▲ 六道地蔵様



▲ 群れ



▲ ピーチク・パーチク



▲ 伏見景色



▲ ごはん待ち猫

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理せず・諦めず
活動予定日

2 月	5 (木)	12 (木)	19 (木)
3 月	5 (木)	12 (木)	19 (木)

- ◆ 場 所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林
[ならやま会館前道路(ならやま大通り)の南側に広がる里山林地]
- ◆ 集 合：現地ベースキャンプ地・午前9時
- ◆ 終了予定：午後3時

◆アクセス

- ① JR平城山駅下車：東口から南へ徒歩10分
- ② 近鉄奈良駅：バス13番乗り場 115系統
8:28発、高の原行き (平日)
- ③ 近鉄高の原駅：バス1番乗り場 115系統
8:36発 JR奈良駅西口行き (平日)
- ②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」下車
徒歩7分

- ◆ 携行品など：弁当、飲み物、軍手(作業用具は現地で用意)



- ◆ 環境保護のため、お椀、箸、コップなどは各自ご持参下さい。

*3月まで豚汁あり、お椀を忘れずにお持ちください。

- ◆ 連絡先：木村 裕

2月5日

- <里山 Gr> 「ならやま里山林の整備」
コナラ伐採(カシナガ被害木/R2)
薪割り、薪材料玉切り
椎茸櫛木の玉切り、集積
- <工房 Gr> 玉ねぎの追肥、里芋畑の畝作り、堆肥作り、育苗ハウス製作
第5地区 柑橘類、ウメの選定
カイガラムシ防除(1月できていなければ)
- <景観 Gr> 彩の森倒木などの処理
アジサイ園寒肥・草取り柵作り、沢庵漬けの手入れ
ならやま池・東池の泥除去作業(予備日)

2月12日

- <里山 Gr> 「ならやま里山林の整備」
コナラ伐採(カシナガ被害木/R2)
薪割り、薪材料玉切り
- <工房 Gr> 茄子畑畝作り、育苗ハウス製作
エンドウ支柱準備
第5地区 ツツジ根元の草引き、チップ撒き
菊の栽培床作り
- <景観 Gr> 第五地区の整備清掃草刈り
山茶花、沈丁花など木々の手入れ・柵作り
歩道橋の補修

2月19日

- <里山 Gr> 「ならやま里山林の整備」
コナラ伐採(カシナガ被害木/R2)
椎茸植菌、仮伏せ
イベント準備
- <工房 Gr> 大根畑跡地にチップなどの散布と耕耘 エンドウの支柱立て
柑橘類等 施肥、補助杭(竹等)の打ち込み
- <景観 Gr> 第二・第三駐車場の清掃草刈り
春花の施肥と草取り
ならやま池の水導入、歩道橋の補修

2月26日

- <里山 Gr> 「ならやま里山林の整備」
コナラ伐採(カシナガ被害木/R2)
椎茸植菌、仮伏せ
イベント準備
- <工房 Gr> 馬鈴薯植え付け畑畝作り
人参などの畑畝作り
砂利の移動(1月の予定であったができていないだろう)
- <景観 Gr> BC周辺の草刈り、駐車場清掃
移植と花壇の手入れ
歩道橋補修、東池の水導入



字遊字感

エコファームだより

運営方針など

- ① 2年目の育苗チャレンジ・・・昨年から始めた「茄子」「南瓜」などの簡易ハウスでの育苗は、初体験としては十分な成果をあげました。今年は、もう少しレベルアップしたハウス製作からチャレンジします。
- ② 有機減農薬栽培により一層努めていきます。
- ② エコファーム申請をめざして取り組みます。

2月から3月の期間は、春作栽培の準備で土壌改良のための作業が主となります。レベルアップした「育苗ハウス」での取り組みは、3月から開始します。間もなく製作に取りかかります。

この時期、圃場では「豌豆」「玉ねぎ」「菜花」「大蒜」そして「苺」などが寒さに耐えつつ育っています。約140株の苺がすくすくと生長して、大きくて美味な実を沢山つけてくれることを夢見ながら栽培管理に励みたいと思っています。

(鈴木末一)



仲間入りしました

山崎 治

有元康人さんの紹介で入会させていただきました。有元さんとは、「奈良市民走ろう会」というマラソンの同好会で一緒させていただいております。私は生まれも育ちも北海道なのですが、これまでの人生は自然との関わりが薄く、振り返って後悔の念も抱いておりました。

縁あって、現在は自然豊かな奈良に住み、又、本会へ入会の機会をいただきました。ゼロからになります、「自然」について学び、関わりを深めて参りたいと思っています。どうぞよろしく願い致します。



旬菜旬食②

ならやまエコファーム料理 (今夜の夕餉)

ならやまで収穫した材料中心の簡単、格安、且つ美味料理

*メニュー

かやくご飯・粕汁・里芋と切干大根の生姜和え・菜花のおひたし漬物 (先月号の大根の砂糖漬)



◆材料 (2人分)

里芋 7個・人参 1本・牛蒡 1本・大根 100g
切干大根 10g・菜花 200g・鶏肉 100g・豚肉 80g・油揚げ 1枚・蒟蒻 200g・酒粕 50g

◆調味料・・・米2合・砂糖・塩・醤油・油・味醂・合せ味噌・生姜のしぼり汁大匙2
すりごま大匙4・だしの素

◆作り方

☆里芋生姜和え・・・切干し大根は戻して茹でて食べやすい大きさに切っておく。里芋3個皮のまま茹でて、茹ったら皮を剥いて1cmの輪切り・味噌砂糖各大匙1.5・生姜のしぼり汁、すりごまを大匙2合わせて里芋、切り干し大根と和える

☆かやくご飯・粕汁

かやくごはん、粕汁は野菜は同じ材料で切り方も同じなので一緒に下こしらえすると良い
里芋・人参・大根、こんにゃく、油揚げは細かく格子切り、牛蒡はさがき、酒粕はみじん切り 鶏肉、豚肉は細かく小口切り、鶏肉(全量)油揚げ、牛蒡、人参、蒟蒻材料の半分を油少々でフライパンで炒め、米2合と醤油味醂各大匙3、だしの素大匙2で味付け炊飯器で炊く。残りの材料にだし汁800cc、酒粕、豚肉、白みそ大匙1.5、塩少々で味付け粕汁を炊く

☆菜花のお浸し

菜花は湯がいて小口切りにしてすりごま大匙2、醤油大匙1で和える(野菜は白菜・その他)でも良い。

☆漬物・・・大根砂糖漬け (先月号参照)

(池田富子)



行事案内 part 1

歴史文化クラブ2月研修会 「纏向遺跡を訪ねる」



2月の歴史文化クラブ研修会は、弥生時代の末期・3世紀後半に纏向の地にあった古代の都：纏向遺跡です。辻地区の建物跡や箸墓古墳、それに先行する纏向型前方後円墳などを巡り、最後に桜井市埋蔵文化財センターで中村学芸員の説明で締めくくります。

全行程約8Kをユックリと古代のロマンに浸りながら歩きたいと思います。

- ①開催日：平成27年2月11日(水)
*雨天順延：代替日2月21日(土)
- ②集合：JR・巻向駅 10時10分
- ③コース：巻向駅⇒辻地区・建物群
⇒纏向古墳群⇒(昼食)⇒箸墓古墳
⇒ホケノ山古墳、茅原大墓古墳など
⇒桜井市埋蔵文化財センター
⇒JR三輪駅(解散)
- ④携行品など：飲み物、防寒対策、(弁当)
昼食はそーめん処三輪茶屋を予定しています
- ⑤担当：岩本、坂東
- ⑥連絡先：歴史文化クラブ 事務局 古川



2月月例研修会 「香久山探鳥会」

日時：2月23日(月)
 集合：9:30集合
 集合場所：近鉄耳成駅南口 駅構内にトイレ有り
 コース：香久山～藤原京跡
 耳成駅 15時頃の予定
 用意：弁当、飲み物、寒さ対策。あれば双眼鏡。
 カモや小鳥などの冬鳥とタカ類が多く見られる筈です。
 交通機関：近鉄西大寺 8:38 発(急)―大和八木 8:59
 着・9:14 発(普)―近鉄耳成駅9:16 着
 担当者：勝田 均
 小田久美子
 帰り：耳成駅時刻：15:04 24 39 49 54



【1/15 岡山県笠岡の養鶏場で鳥インフルエンザ陽性が見つかり 200万羽が処分、冬鳥たちのことも心配です。】



(モズ・山縣)

▲
(マガモ・田中)





行事案内 part 2

GGプロ：しいたけイベント

恒例のシイタケづくりイベントです。2年目のGreen Gift プロジェクトイベントの一回目です。タイトルも刷新して「植えよう（クヌギ、しいたけ）！作ろう（バウムクーヘン）！」です。

1. と き 2月28日(土) 10～15時
雨天の場合は、3月7日(土)です。
2. ところ ならやまベースキャンプ
3. なにを 午前：木槌づくりとこま菌植込み
昼食：ならやま名物の豚汁提供
午後：クヌギの植樹、バウムクーヘンづくり

ならやま育ちの3年物のクヌギの植樹を行います。またバウムクーヘンは夏場から冬場の主役に交代です。冬場ですが上手く焼けるでしょうか。

・会員のみなさんへのお願い2つ・

- ①スタッフに参加してください。(40名募集)
- ②お孫さんに参加をしてもらって下さい。

寒い時期ですが、親子の森林学習も兼ね楽しいしいたけイベントにしましょう。

(塩本勝也)

自然教室チームだより

『3月自然観察会予告』

「春の妖精たち」を訪ねて！

—早春の私市植物園を楽しもう！—

大阪市立大学附属植物園(私市植物園)で春の息吹にあふれる自然を楽しみたいと思います。カタクリやイチリンソウなど春の訪れを告げる草花がたくさん見られるでしょう。

どなた様の参加も歓迎です。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

1. 日時：3月11日(水) 10時～15時
2. 場所：私市植物園
(交野市私市2000
TEL-072-891-2059)

3. 連絡先：自然教室チーム
倉田 晃



3月月例研修会予告(「歴・文クラブ」との共催)

早春の「山の辺の道」を歩く

—JR長柄駅～JR天理駅—

早春の息吹を感じながら、大和の原風景を愛で、古代の古社・遺跡を訪ねます。春の野辺の草花も楽しみです。

- ・実施日： 3月24日(火)
- ・集合： JR長柄駅 AM10:00
- ・ルート： 長柄駅—刀根早生種発祥の地—菅生・竹之内環濠集落—菅生の千塚—十二神社—夜都伎神社—内山永久寺跡—石上神社—JR天理駅(歩程 8km)



詳細は3月号にてお知らせいたします。

担当幹事 川井 寺田



奈良学クイズ



【問】ある寺院の仏像の写真です。寺院名と仏像名をお答えください。

- ◆応募締切： 2月1日(日)
- ◆応募方法： メール(広報)



◆正解された方には、ならやま産有機野菜が端境期になりますので、自然木のミニハイバックチェア(花台などに利用)等のクラフト作品を進呈します。

【1月号の答え】秋篠寺・伎芸天立像

平成27年・1月度幹事会報告

◆日時：平成27年1月6日(火) 17:00~20:00

◆場所：中部公民館

◆案件：

I 会長挨拶

- ・経団連自然保護基金 2015 年度助成申請をした。
- ・古都保存法施策の試行実験でヒアリング予定。
- ・当会パンフレットを一部修正しA4版に変更。

II 報告事項

①会員動向：153名(前月より1名増)

②会計報告：高額の収支について説明がされた。

③月例研修会、イベント等の活動報告：

- ・12/8「源氏の里 宇治を歩く」 23名
- ・12/8 忘年会 45名と過去最多の参加者で盛況
- ・12/18 芋煮会 60名参加
- ・12/25 迎春準備 干支の置物づくり、芋粥好評

III 検討事項

①ならやま：12月実績報告、1月度活動予定

- ・12月は雨天のため前年より参加者が減少した。
- ・刈払機の移動時には必ず刃にカバーをする。
- ・機具の管理の徹底を図る。

②H27年度月例研修会年間計画について

- ・例研の検討チームがまとめたテーマ別(案)が提示されたが異議は出なかった。新春講演会のあり方等について更に検討することになった。

③林野庁交付金事業の進捗状況について

- ・交付決定額に対する執行状況が報告された。事業全体的には順調に推移している。

④H27年新春講演会

- ・1/24 14~16時 参加者60名を募集中。幹事の役割分担を決めた。

⑤GGプロジェクト

- ・2/28 しいたけ菌打ちのイベントの概要説明があり、参加者60名の募集とスタッフ40名の確保。

⑥ネイチャーなら2月号の編集について

- ・執筆者の決定と新コーナー開始報告があった。
- ・カシナガ関係のまとめを会員専用HPに入れる。

IV 確認事項

① 新春初出式、進路ガイダンス等の確認。

② 1~3月の行事予定を確認した。

以上

◆ 申し合わせ ◆

※ ならやまでのプロジェクト活動やイベントは、前日午後7時前のNHKTV天気予報で奈良県北部の降水確率が午前60%以上の場合は、中止になります。

※ 通常活動日【木曜日】が、雨天等により中止になった場合、翌日【金曜日】を臨時活動日とします。

ペン画に寄せて 境 寛

安藤広重『東海道五十三次』の蒲原(かんばら)の宿、昨年の5月に葛飾北斎の版画『富嶽三十六景』をペン画に模写しましたが、今回は安藤広重『東海道五十三次』の蒲原の宿を写してみました。

蒲原宿は、現在の静岡県静岡市清水区で、東海道五十三次の15番目の宿場です。東海道五十三次のなか唯一雪の風景です。しかも夜の雪景色が印象的です。



◆寒波襲来。閉塞感漂う流れを払拭し、明るい展望が開ける社会を願わずにはられません。

◆箱根駅伝で初優勝を成し遂げた青山学院大学の原監督さんの「ワクワク大作戦」という戦術。ビジネスの手法をスポーツ界で実践し、限られた環境の中でも出来ることを探して取り組む。「ワクワク感を大切に」と学生だけではなく自分自身にも。語録がクローズアップされている。(里山人)

会報誌【ネイチャーなら】・第156号

発行：奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀憲

<http://www.naranature.com>



編集チーム代表：鈴木末一